

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成三十年七月度 入選句（投稿総数三千五百三十句・一般投句数七百七句）

特選

十葉の句にまみれ生家あり

海津市

横井 美圭

十葉の葉は濃緑色でハート形。白い十字形の苞を開く。独特の匂がする。ドクダミと言われ、古くから薬草として利用されてきた。

生家に帰ると、十葉の葉が吊されている。この句は人によつて好き嫌いがあるが、作者は子供の頃から嗅いでいる懐しい匂だ。十葉の名のごとく心の葉にもなったことだろう。

朝市のまだ濡れてゐる夏野菜

大垣市

宮脇 和子

夏の朝市は、挽ぎ立ての夏野菜が山盛りで並んでいる。キュウリ・ナス・トマト・ピーマン・オクラなど新鮮な色や形や香りが食欲をそそる。

朝の露や洗った水がまだ乾かずに濡れたままにある。売手のおばさんとの会話も楽しいものである。

母の日に乾杯母とその母と

大垣市

棚橋 みさを

母の日は五月の第二日曜日。日頃の愛を感謝する日で、赤いカーネーションを贈る習慣がある。

作者はご馳走を用意し、家族で乾杯をして母に感謝の気持ちを伝えた。「母とその母」のフレーズが面白い。

秀逸

あるだけの靴磨きをり夏の朝

愛知県名古屋市

舘野

茂子

大夕焼部活帰りの黒き腕

安八郡神戸町

大槻

恭子

いささかのいさかいもあり二輪草

東京都狛江市

椎野

一恵

思いきり髪はカットに更衣

不破郡垂井町

中西

弘子

風と風出合ふうねりや麦の秋

岐阜市

花川

和久

昼顔や軋み水門開かるる

安八郡神戸町

後藤

和朗

登城坂構えて居りぬ女郎蜘蛛

大垣市

棚橋

みさを

夏帯や三代を継ぐ心意気

岐阜市

小湊

順子

挨拶に合わせて傾ぐ白日傘

揖斐郡池田町

木塚

しょう

太陽に恋して奔る青蜥蜴

栃木県那須塩原市久保田 山蛾

入選

退職し背広なき身の更衣
たとう紙に薄き母の字合歡の花
七難を隠す角度の夏帽子
雨音に受話器置きたり桜桃忌
南風吹く海に会いたく旅に出る
衣更母の作つたワンピース
葉ざくらの影の深かきや結び地
我が街は市政百年花は葉に
クレーン車雲の峰より荷を下ろす
麦扱けり一番風呂に父の歌

大垣市	傍島	隆
岐阜市	小湊	順子
東京都世田谷区	関戸	信治
岐阜市	富永	萬里
大垣市	北村	陽子
不破郡垂井町	岩田	清子
東京都西多摩郡	斉藤	洋美
大垣市	末守	節子
養老郡養老町	田中	紫香
安八郡輪之内町	野村	照子

入選

蚊を打ちて案内図読む大樹下
大声の変らぬ友や雲の峰
夜の町吼えて逆巻く出水川
刃剣の光り失ふ大暑かな
沙羅双樹あと八丁の女坂
猫もまた大の字となる暑さかな
山梔子の色は錆びたり夕の闇
短夜の夢の結末もちこして
風だけが渡る鉄橋夏薊
画用紙の白さや夏至の写生会

愛知県岡崎市	荻野	豊一
大垣市	田口	貞善
大垣市	北浦	典子
大垣市	野村	多佳子
大垣市	中山	あや子
安八郡安八町	渡辺	千代美
不破郡垂井町	川瀬	慶泉
大垣市	高木	歌佐
神奈川県川崎市	佐藤	廣枝
京都府京都市	石田	吉之助

選者吟

まづ鼠花火に点火男の子

武直